

神戸ルミナリエ組織委員会

『神戸ルミナリエ』－阪神・淡路大震災の犠牲者の鎮魂と復興の願いを込めた、光の景観創出に地域の力が結集されてきた業績に対して

今年は阪神淡路大震災12周年の節目に当たり、地震国日本としても初の今日的な大都市型災害の教訓を顧みる動きが高まっている。「神戸ルミナリエ」は、被災地自発で創出され、都市の復興・再生への夢と希望を託して、その記憶を未来に繋ごうとする一大年中行事として定着してきた。これまで行われてきた「神戸ルミナリエ」は特に市民レベルでの支持が根強く、また主催者側も被災体験を共有し神戸アイデンティティをもたらすものとして評価された。

この度はSDA賞特別賞にご選考頂き、誠にありがとうございます。神戸ルミナリエは平成7年1月に兵庫県南部地方を襲った阪神・淡路大震災の犠牲者への鎮魂と、街の復興への夢と希望を託して、この年の12月に初めて開催されました。イタリア発祥の華麗な光の芸術は、震災で打ちひしがれた市民の心に大きな感動と希望を与えました。以来、震災の記憶を語り継ぎ、都市と市民の希望を象徴する行事として、数多くの企業や市民、ボランティアの方々などに支えられて毎年開催しております。震災後12年が経過し、神戸ルミナリエを取り巻く環境も変わってきておりますが、今回の受賞を励みに、これからもこの光を灯し続けていきたいと思っております。



©Valerio Festi/I&F Inc./Kobe Luminarie O.C.